

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 滝川市にぎわい再生地区

平成26年3月

北海道滝川市

## 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住人口	人	2,660	2,800	2,802	確定		○	あり	H25年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公営住宅整備が、民間投資による共同住宅の建設を促進し、また、郊外から移転した新図書館や改築された新病院などが利便性の向上に大きく寄与した結果、中心部の人口減少に一定の歴史的背景がある。一方で、一定のまとまりたった「種地」が容易に供給されない状況から、共同住宅の建設を促進できる状況ではなくなっている。
						見込み	●		なし				
指標2	歩行者通行量	人／日	7,008	10,000	11,306	確定	●	○	あり	H 年月	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公営住宅整備や民間集合住宅の建設により、居住者が増加したこと、市立病院のリニューアルオープン、図書館の街なか移転、まちづくりセンターなどコミュニティ施設のオープンにより利便性が向上したことが、街なかへの回遊性を生み、通行量の増加に繋がった。
						見込み			なし				
指標3	図書館利用者数	人／年	43,000	65,000	103,600	確定		○	あり	H26年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	郊外から中心市街地に位置する市役所への移転により、交通アクセスの利便性が大きく向上。また、利用者ニーズの的確な把握と新たなシステムの導入や積極的なソフト事業の展開により、利用者の満足度が大幅に向上了し、利用者数は移転前の約3.9倍へと飛躍的に增加了。
						見込み	●		なし				
指標4						確定			あり	H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし				

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
					見込み								
その他の数値指標2					確定				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
					見込み								
その他の数値指標3					確定				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
					見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	サービス付き高齢者向け住宅の整備	サービス付き高齢者向け住宅の整備支援	空き店舗や空き地などの未利用地が増加している一方で、一定のまとまった「種地」が容易に供給されない状況から、これまでのような共同住宅の建設を促進できる状況にはなかった。	空き店舗施設等の解体など、不動産の流動化を促すための支援制度を検討する必要がある。
	1軸3拠点の形成	“広域交流拠点(滝川駅周辺)”から“賑わい拠点(栄町3・3地区)”までの歩行空間をバリアフリー化	歩行空間の改善により、利便性及び安全性が向上し、各拠点との連携が強化された。	・公共公益拠点(市役所・市立病院等)までの歩行空間のバリアフリー化を進めていく。 ・“広域交流拠点”及び“賑わい拠点”的整備に連動した取組により、点から線、面へと波及的展開を目指す必要がある。
	各種イベントの継続実施	・滝川市商店街等賑わいづくり事業(五百円均市、軽トラ市、シャッター街とは言わせない!、りんごシール中元大抽選会、駅前ひろばく・る・る事業、商店街パッチ事業等)への支援 ・まちなかゼミナールの実施	商店街に「人を歩かせ」、「引き込む」事業により、賑わいが形成され、また、お客様に個店の魅力を伝える事業により、新規顧客やファンづくりに繋がった。	・賑わいを一過性に留まらせず、継続的な集客や利益に繋がるよう、各種イベントを進化させていく必要がある。 ・賑わいづくりに適した継続イベントを模索していく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	まちづくりセンター、図書館、商店街との連携強化	・まちづくりセンターと連携し、商店街等のイベント情報を発信 ・図書館ロビーに、市内の7商店街のお店紹介の広告、冊子などの情報が得られる「まちなか情報コーナー」を設置するほか、滝川情報事業協同組合(げんきカード会)と連携して、携帯メールマガジンに図書館の新着情報を掲載	・連携PRにより、集客数の増加に貢献した。 ・各取組により、相互の施設等への誘導化が図られた。	既存施設との連携強化により、相乗効果を發揮し、一層の賑わい創出や回遊性向上に繋げる必要がある。
	情報発信の強化	・報道機関(FM・新聞等)との連携 ・新聞折込チラシの活用 ・フェイスブックの活用 ・既存施設との連携(チラシ設置・直接配布)	初めてのイベントにおいても、一定の手応えを得るなど、情報発信強化による効果が現れた。	それぞれの連携強化を図るとともに、新たな情報発信ツールについては、積極的に活用していく必要がある。
	「駅前地区」及び「栄町3・3地区」の再生	・滝川駅前広場の再整備に向けた調整 ・栄町3・3地区再開発に向けた調整	現在はまだ調整段階にあるが、「駅前広場」については、“公共的空間の形成”や“交通結節点の機能強化”を軸に整備されつつあり、また、「栄町3・3地区」については、地元経済界を含めた民間主導による再開発の動きが出てきている。	・駅前広場の再整備を図っていく。 ・栄町3・3地区の再開発を誘導すべく、支援体制を構築していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項